

組合会議長就任の ご挨拶



組合会議長 逆井 光雄

この度の役員改選によりまして、組合会議長に選任されました古河支部所属の逆井光雄です。どうぞ宜しくお願いいたします。

また、副議長には、新潟支部の今井彰議員、川越支部の宇津木和男議員が就任されました。ともに組合会の役割を認識して、その責任を果たしていきたいと思えます。組合員の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

組合会は、各県から選出された組合会議員36名で構成され、国民健康保険法に規定された項目その他について審議、議決をする機関であり組合の健全な運営の一端を担っております。

去る7月28日に、第143回通常組合会が開催されました。

平成28年度の歳入歳出決算の承認について、同じく決算剰余金処分の承認について等が上程され、原案通り承認議決されました。また、任期満了による理事、監事の選任も上程され、後の理事会において和久井理事長をはじめ新しい役員が決定いたしました。

国からの補助金が削減され厳しい財政状況が続きますが、運営につきましては、新役員の方々の英知を結集していただき、健全な運営をお願いしたいと思います。

厚生労働省は7月に国民の健康確保のためのビックデータ活用推進に関するデータヘルス改革推進計画を発表しました。制度別に管理されている健康・医療・介護のビックデータを連結して、官民間問わずデータの活用を可能にする行程表を示しています。目的は、健康寿命を延ばすこと、そして現在の社会保障の維持を目指しております。当組合におきましてもこのビックデータの活用を積極的に進めていただきたいと思います。

治療よりも予防、早期発見、早期治療を啓蒙して組合員の健康の維持を図っていただきたいと思います。

健康でなければ、我々の業務もその責任を果たしていく事が難しくなります。先人が設立したこの組合を税理士会の中でご理解をいただき、有効に活用していただきたいと思います。

組合員の皆様、関東信越税理士会の皆様のご協力をよろしくお願いいたしまして就任のご挨拶とさせていただきます。